

今回登録される建造物の概要

<旧櫻井醸造（ヤマカノ醸造） 3件>

櫻井醸造は、明治10年以降創業の醸造蔵で、戦後に敷地及び建物の所有が合資会社鈴彦商店（現ヤマカノ醸造）に移りました。寺池金谷の交差点に所在する明治後期の建物群は、それぞれ街路景観の一角を成すのみならず、いずれも時代特性を有する近代和風建築であり、当地の商家建築及び土蔵の構造・意匠の進化を知ることができます。

ヤマカノ醸造では、令和3年の商蔵（寺池九日町）など6件に続き、このたび3件の建造物が登録されることとなります。

名称	建築年代
きゅうさくらいじょうぞう 旧櫻井醸造（ヤマカノ醸造）事務所	明治42年／昭和前期改修
特徴	
登米城下町南辺の角地に北面する町家。木造二階建切妻造の建物で、梁を重ねた束立 <small>きりづまづくり</small> ての小屋組、軒の出桁造 <small>だしげたづくり</small> を見せて、地域の歴史的景観を形成する。	
	
【写真：登米市教育委員会提供】	

名称	建築年代
<small>きゅうさくらいじょうぞう</small> 旧櫻井醸造（ヤマカノ醸造） <small>じょうぞう</small> 南蔵 <small>みなみぐら</small>	明治45年
特徴	
事務所から通りを挟んで西に所在する醤油醸造蔵。土蔵造平屋建，屋根は切妻造鉄板葺。 <small>はちまき</small> 太い鉢巻と勾配屋根が特徴的で，小屋組は洋小屋を模した構造とする。	
	
【写真：登米市教育委員会提供】	

名称	建築年代
<small>きゅうさくらいじょうぞう</small> 旧櫻井醸造（ヤマカノ醸造） <small>じょうぞう</small> 醸造蔵 <small>じょうぞうぐら</small>	明治後期／昭和前期改修
特徴	
事務所から通りを挟んで北西に所在する醤油醸造蔵。土蔵造平屋建，屋根は切妻造鉄板葺。腰屋根と窓で通気性を確保した蔵で， <small>なまごかべ</small> 海鼠壁で意匠を凝らす。	
	
【写真：登米市教育委員会提供】	

<大高森薬師堂 1件>

大高森薬師堂は、日本三景松島の四大観の一つ「^{そうかん}壯観」と謳われる宮戸島・大高森に所在する堂宇で、宮城県が明治44年から実施した県立自然公園松島整備のなかで建設されたと伝わります。

小堂ながらもつくりは堅実で、軒瓦には多賀城で出土される古代瓦と同じ紋を施すなど、古代建築の様式を採用した大変興味深い建造物です。

名称	建築年代
<small>おおたかもりやくしどう</small> 大高森薬師堂	大正前期
特徴	
大高森の中腹に西面して建つ。 ^{ほうぎょうづくり} 宝形造 ^{ふなひじき} 棧瓦葺。 ^{ひとのき} 柱は円柱で、組物は舟肘木、軒は一軒 ^{まばらたるき} 疎垂木とする。正面に向拝を持たず、 ^{がとう} 瓦当に ^{れんげもん} 蓮華文を施すなど復古的な様相を示す仏堂。	
	
【写真：東松島市教育委員会提供】	